

中核市災害相互応援協定に基づく
倉敷市への被災地派遣について (報告)

危機管理部 防災課



報告の目次

- ・平成30年7月豪雨について
- ・派遣の概要説明
- ・被災地の様子
- ・業務の詳細
- ・被災地の声

平成30年7月豪雨について

平成30年6月28日以降、前線や台風第7号の影響により、日本付近に暖かく非常に湿った空気が供給され続け、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となった。

これらの影響で、河川の氾濫、浸水害、土砂災害等が発生し、死者、行方不明者が多数となる甚大な災害となった。また、全国各地で断水や電話の不通等ライフラインに被害が発生したほか、鉄道の運休等の交通障害が発生した。



派遣の概要

派遣期間
平成30年7月23日(月)から8月31日(金)
延べ40日間

派遣先
岡山県 倉敷市

派遣職員
11部局 17名

平成30年7月豪雨の被害状況

人的被害

- ・ 死者 237名
- ・ 行方不明者 8名
- ・ 重傷者 123名
- ・ 軽症者 309名

建物被害

- ・ 全壊 6,767棟
- ・ 半壊 11,243棟
- ・ 一部損壊 3,991棟

消防庁：1月9日現在

派遣に至った経緯

平成30年7月19日(木) 18:19
越谷市(ブロック幹事市)から川口市に電話連絡

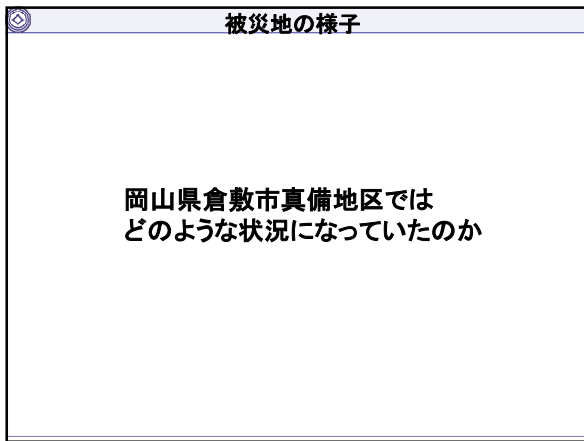
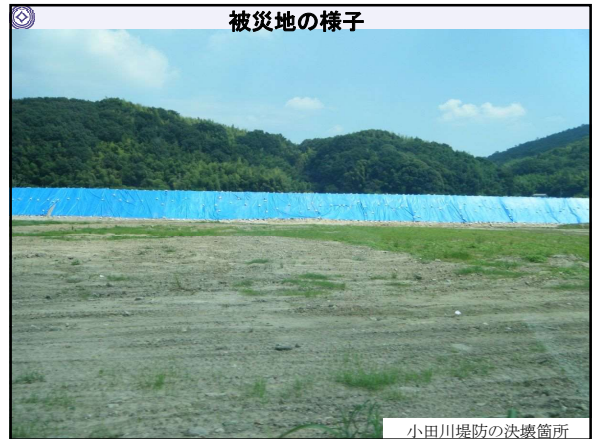
↓

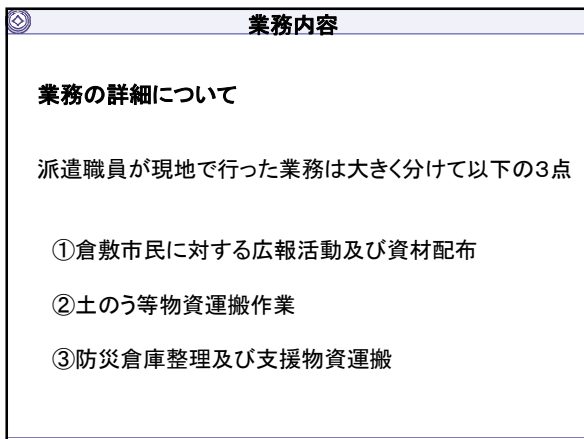
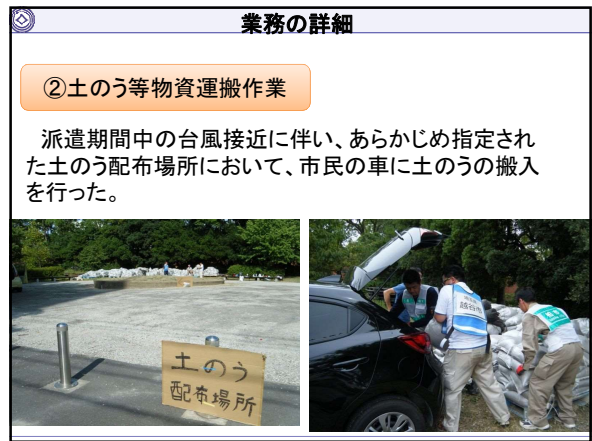
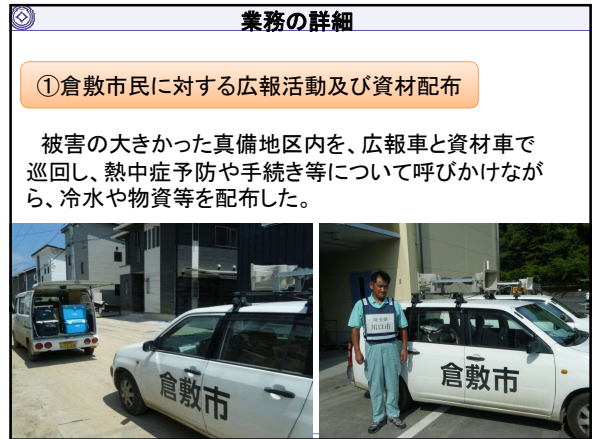
平成30年7月20日(金) 9:30
災害11部の臨時会議を開催し職員の派遣を決定

↓

平成30年7月23日(月) 4:00
岡山県倉敷市に川口市から第一陣が発発



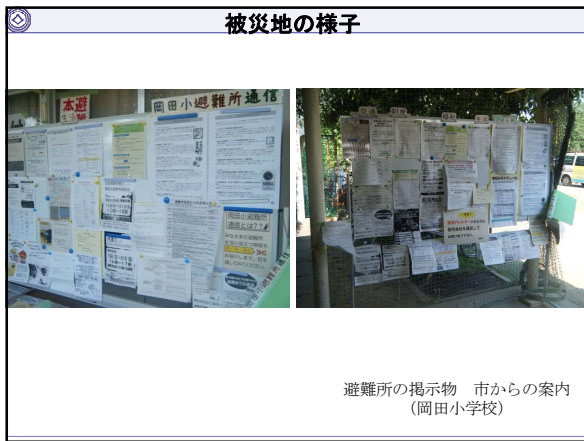




被災地の声

川口市職員が現地での活動を通じて伺った被災地の声をお伝えします





北海道胆振東部地震について

北海道胆振東部地震においても
厚生労働省からの依頼に基づき
川口市から保健師チームを派遣しております

中核市災害相互応援協定に基づく
倉敷市への被災地派遣について（報告）

危機管理部 防災課